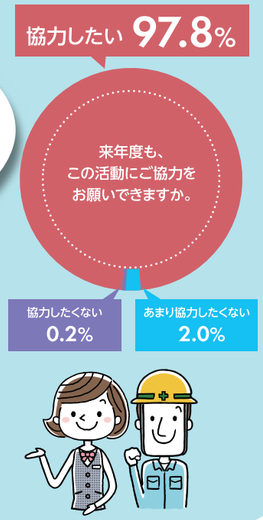
事業所の皆様へ

「地域の子どもは地域で育てる」という理念のもと、生き方探究・チャレンジ体験は実施されています。事業所の皆様には、御負担をおかけしますが、子どもたちの今と未来のため、一層の御支援・御協力をお願いいたします。

事業所の皆様からの声

●「生き方探究・チャレンジ体験」は、若い世代が社会（大人）と接点を持ち、自分の将来について考える貴重な機会だと感じております。実際に受入を通して、**生徒の皆さんが新しいことに意欲的に取り組む姿に刺激を受け、社員のモチベーションアップや職場の活性化にも繋がりました。**今後も継続して実施されることを願っております。受入側としても、より良い体験となるよう工夫を重ねていきたいと思います。

●生徒の皆さんのやる気や自分から率先して仕事を探す姿勢などから、**お店としても教わることがあり、大変勉強になりました。**当店のスタッフにも良い刺激となり、ぜひ来年も受け入れたいと思います。



Q&A

Q 体験までの流れはどのようになっていますか？

学校で事前学習を行った後、生徒自身が各事業所へ事前に訪問し、活動の流れや注意事項を確認しています。また、生徒はもちろん、保護者や地域の方にも参加いただいて報告会を行うなど成果の共有を図っています。

Q 体験する事業所はどのように探しているのですか？

各学校が地域の事業所を中心に、受け入れていただける事業所を探して協力をお願いしています。PTA・地域の方、福祉・教育関係団体、経済団体からも事業所を紹介していただくこともあります。また、公共施設などでも積極的に受け入れていただいています。

Q 体験日数は何日間ですか？

本事業がより効果的なものとなるよう、事前・事後学習の充実を図りながら、実施時期や体験日数を学校独自に設定（連続3～5日間）し、それぞれの学校で年間計画の中に位置づけ実施しています。

Q 事業所への行き帰りや体験中に事故が起こったときはどうなりますか？

事故が起きないように、事前にしっかりと生徒に体験内容を理解させたうえで、行き帰りの交通安全についても、細やかに指導しています。しかし、万が一事故が起きた場合には、京都市教育委員会で加入している傷害保険・賠償責任保険等から、必要な補償がされることになります。

■お問合せ先
京都市教育委員会　京都まなびの街 生き方探究館
〒602-8031　京都市上京区西洞院通下立売下る東裏辻町402
TEL 075-253-0880　FAX 075-253-0878
URL https://www.edu.city.kyoto.jp/scfp/

京都市 CITY OF KYOTO

京都はぐくみ憲章

中学生の職場体験活動

夢に向かって大きく羽ばたくために

生き方探究・チャレンジ体験













京都市教育委員会

生き方探究･チャレンジ体験とは



京都市立中学校・小中学校・総合支援学校の生徒が、市内各所の事業所等を訪問し、様々な職場での勤労体験などに取り組みます。保育園や製造・販売関係、飲食店など、約 3,000 を超える事業所等の御協力のもと、各学校の計画に基づき実施しています。



目的 自らを見つめ、生き方について考える

体験を通して、生徒が自ら学び、自ら考える力などの「生きる力」を身に付けるとともに、集団や社会の一員としての自己の在り方を見つめ、社会人･職業人として自立していく力の基礎を培い、自らの生き方を見つけます。



VOICE



生徒の声

●自分の将来について考えるきっかけとなりました。働くことの楽しさだけでなく、難しさにも気づくことができました。また、自分には、周りの人の協力や多くの人の支えがあることも実感できました。

●職場体験をするまでは、学校で学んでいることがどんなふうに役立つのか、あまり考えたことはありませんでした。でも、職場の人のお話を聞いたり、実際に体験してみて、普段の学習が将来につながっていることに気付きました。

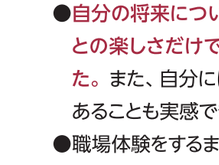
●自分が通っていた保育園に、7年後にチャレンジ体験で訪れることができ、これまでとは違った視点で園を見ることができました。この体験を通して、将来の夢を見つけることができました。



保護者の声

●体験期間は毎日「疲れたー」と言いながらも楽しそうにその日にあった出来事を話してくれ、親子の会話がいつもより盛り上がりました。そして、将来のことや勉強のことなどを話し合う良い機会となったと思います。

●初日に「仕事って大変やなぁ」という子どもの姿を見て、真剣に取り組んでいる様子が伝わってきました。体験を通じて、相手の立場になって考える大切さも学べたようです。自分なりに考え、一生懸命取り組み、人の役に立つ喜びを感じたと思います。



教職員の声

●生徒が自ら考えて行動し、成長しようとする姿が多く見られました。研究課題の探究を通して、生徒の働くことに対する考えがより深まったように感じます。実社会で学べる貴重な機会なので、体験での学びを、生徒の将来に活かせるように指導していきたいです。



京都市の取組

京都市では、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことができるようにする「生き方探究教育（京都市版キャリア教育）」を推進しており、本事業は「生き方探究教育」の重要な柱の一つとして実施しています。

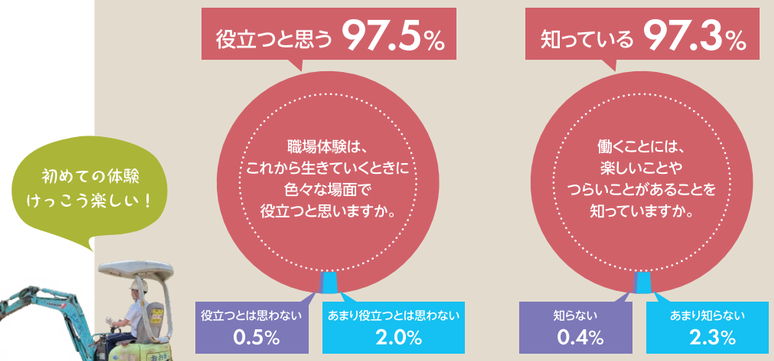






DATA

体験後の生徒アンケート



初めての体験
けっこう楽しい！

EXAMPLE

生徒の体験例

体験前

●「働くとは」について考える
●研究課題・活動目標の設定
●様々な職業の方からの講演
●事業所研究・事業所訪問

働くとは、仕事とはどういうことかを考え、「保育士は、子どもが安心して過ごせる環境をどのようにつくっているか?」を研究課題としました。

保育園での体験（4日間）

午前	午後
●一緒に遊ぶ ●お遊戯会の練習	●保育士へインタビュー ●おやつの補助 ●お遊戯会の道具づくり

保育士へのインタビューから、「子どもが安心して過ごせる環境をつくるために、子ども一人一人の気持ちに寄り添い、『この先生は自分をわかってくれている』と感じてもらうことが大切だ」ということがわかりました。

体験後

●お礼状作成など
●事業所の方、保護者、全校生徒への報告会

研究課題に対する答えとして、保育士は、子どもと遊びながら、一人一人とコミュニケーションをとり、子どもと信頼関係を築くことで、安心して過ごせる環境づくりを行っていると考えました。